

毎日、安全で美味しい水をお届けします！

すいげん

NO.23

厚岸町水道広報

2018

夏

特 集

平成30年度水道事業 予算と事業計画

- 厚岸の水道百景 No.9
これからの給水を担う『耐震型水道管』



町営牧場の真ん中にある
別寒辺牛地区の配水池

建設改良事業の増に伴い資本的支出が4,958万円の増 漁港整備に伴う配水管を新設

平成30年度の水道事業会計予算は3月に開かれた町議会第1回定例会で可決されました。収益的収支の予算額は収入が2億9,990万6千円で、前年度に比べ171万円の増、支出は2億6,049万4千円で、前年度に比べ639万5千円の減となり、収支の差額は増加する見込みとなっています。事業は、漁港整備に伴う若竹第2埠頭の配水管を新設するほか、メーター取替工事、上水道施設の更新に係る計画策定を予定しています。

予算の概要

※水道事業は水道法の規定で、給水人口が100人を超えるものをいい、このうち給水人口が5千人以下のものを簡易水道事業といいます。どちらも必要な経費は水道料金で賄う独立採算制が原則ですが、上水道事業は地方公営企業法が適用され、予算は料金収入や営業経費などの経常活動に関する「収益的収支」と施設整備などの投下資本の増減に関する「資本的収支」の2本立てとなっています。水道事業予算とは上水道事業予算のことです。

〔収益的収支〕

収益的収支で収入の柱となる給水収益（水道料金）は業務用での水量が増加する見込みで前年度に比べ470万6千円（1.8%）増の2億6,998万4千円ですが、受託工事収益などの減で、収入総額では0.6%増の2億9,990万6千円を見込んでいます。

また、収益的支出の総額は、原水及び浄水費などの増、配水及び給水費や受託工事費などの減で、2億6,049万4千円となり、前年度に比べ639万5千

円（2.4%）の減です。この結果、収支差額は3,941万2千円の黒字となる見込みです（図1）。

〔資本的収支〕

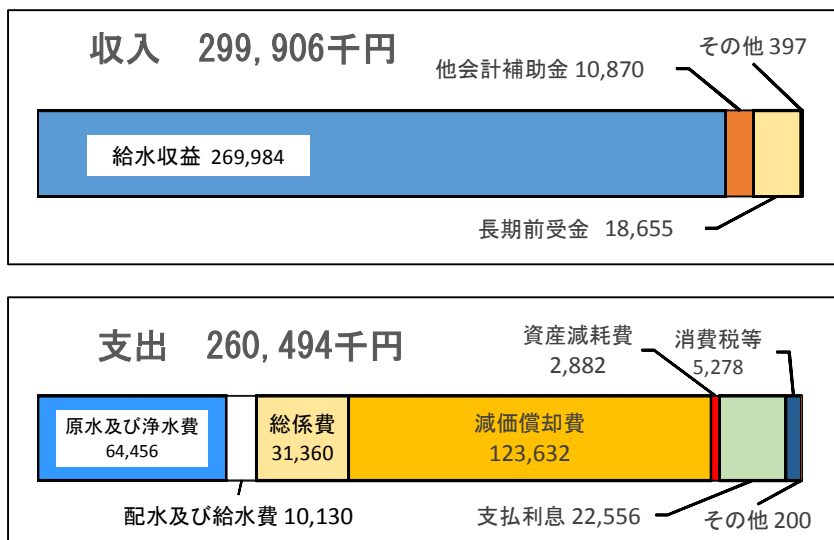
資本的収支は、収入総額が4,040万1千円で、前年度に比べ、3,660万1千円（963.2%）の増となっています。

主な収入の企業債が3,040万

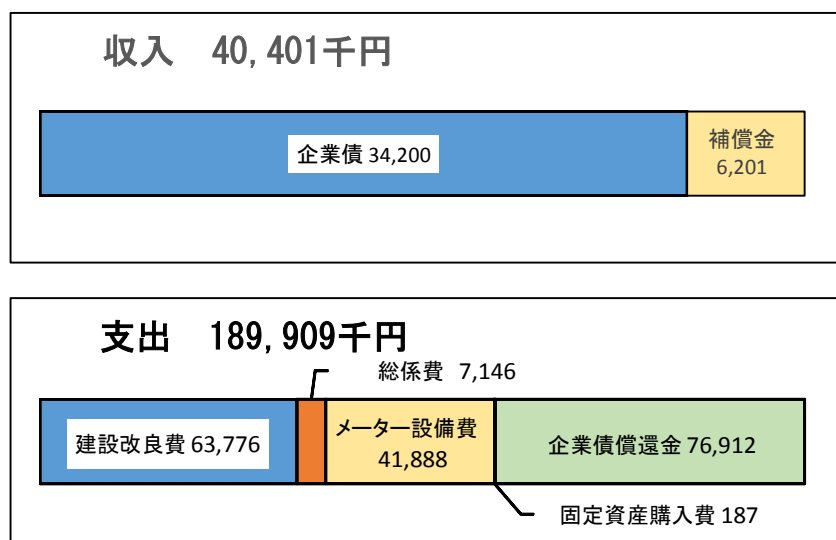
円（800%）増の3,420万円。補償金は620万1千円の皆増となっています。

支出総額は1億8,990万9千円で、前年度に比べ4,957万9千円（35.3%）の増となっています。主に、建設改良費が5,997万2千円増の6,377万6千円、総係費が690万円減の714万6千円、メーター設備費が1,163万2千円減の4,188万8千円となっています。

■図1 収益的収支
水道水を作り、家庭などにお届けするための経費と財源



■図2 資本的収支
水道施設を建設・改良するために必要な経費と財源



企業債償還金は817万8千円(11.9%)増の7,691万2千円です(図2)。

資本的収支の不足額1億4,950万8千円は、過年度分損益勘定留保資金1,216万9千円、当年度分損益勘定留保資金1億496万9千円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額837万円、建設改良積立金2,400万円で補填することとしています。

業務の予定量

業務の予定量は、平成30年度の水需要等の見通しを立てたものです。給水戸数は前年度に比べ28戸(0.5%)増の5,191戸

で、年間総配水量は16,164立方メートル(1.3%)増の128万65立方メートルで、一日平均給水量は44立方メートル(1.3%)増の3,507立方メートルの見込みです(表1)

■表1 業務の予定量

区 分	単位	30年度	29年度	増減	率(%)
給 水 戸 数	戸	5,191	5,163	28	0.5
年 間 総 配 水 量	m ³	1,280,065	1,263,901	16,164	1.3
一 日 平 均 給 水 量	m ³	3,507	3,463	44	1.3

平成30年度 of 主な事業

●配水管布設替等事業 4,392万6千円(4,192万6千円)

漁港整備に伴い配水管を新設する工事等を行います。

●設備整備事業 1,985万円(▲1,804万6千円)

上水取水場取水ポンプ等の整備工事を行います。

●上水道施設耐震化計画策定業務 700万円

上水道施設の耐震化と更新に係る計画の策定を行います。

●メーター設備事業 4,188万8千円(▲1,163万2千円)

水道メーター(量水器)の新設や有効期間が満了するメーターの交換を行います。新設、交換あわせて526台(▲197台)



※()内は前年度当初比増減額で、▲は減

すいげん NO.23

2018 年 夏号 (通巻 59 号)
平成 30 年 8 月 1 日発行

■発行／厚岸町
■編集／水道課
〒088-1192
厚岸町真栄 3 丁目 1 番地
TEL0153-52-3131
FAX0153-52-4284
E-mail／
suidou@akkeshi-town.jp



●表紙の写真

若松地区にある町営牧場別寒辺牛団地は、約 460 ヘクタールの広大な草場が広がり 900 頭の牛の放牧ができます。

その真ん中に、この地区の水を供給する「別寒辺牛配水池」があります。ここから自然の落差を利用して給水しています。

水源は深井戸から汲上げた地下水です。

この配水池からの眺めは、まさに絶景といえます。



耐震型水道管の一つ「配水用ポリエチレンパイプ」の製造会社がPRのため来町しました。小雨の中、接合や耐震性を証明する実験を行いました。

厚岸の水道風景

No. 9

これからの給水を担う『耐震型水道管』

今回は、水道施設の中でも重要な部分を占める「水道管」について紹介します。

水道管が埋設されている距離は、厚岸町の市街地を中心とした上水道区域だけでも、約 160 キロメートルにも及び、その大きさは直径 300 ミリメートルから 50 ミリメートルで、材質は塩化ビニル製が大半ですが、鋳鉄製やポリエチレン製のものも使用しています。

一般的な耐用年数は、40 年程度とされていますが、現存するものは老朽化が進み、耐震性が低く、その更新整備には多額の費用と長い期間が必要になるため、大きな課題となっていました。

今年度から「耐震型水道管」を使用した整備を進めています。先日、「耐震型水道管」の実地説明があり、興味深く見学しました。

この広報誌は、町のホームページでもご覧いただけます。

編集後記

▼4月に建設課から水道課に配属になりました吉田です。配属先が2階から1階へ、そして業務内容も地上から地下へ変わりました。早くも4ヶ月が経ちましたが、まだまだ慣れない日々が続いております。

「水」は重要なライフラインです。7月の西日本豪雨での甚大な被害が頭をよぎります。蛇口を回せば水がでる。それがとても幸せな事だと実感しました。

これから「水」の大切さを再度皆様に伝えられるよう努力したいと思います。(吉田)

▼はじめまして。4月に教育委員会から水道課業務係に異動した佐々木です。早くも4ヶ月が経過して、この仕事がすべての町民の方々に関わる、大変な責任を伴う仕事だということがわかってきました。今もまだ聞き慣れない用語に戸惑うことも多いですが、上下

水道のことを勉強していきます。皆様の生活を支えられるよう一生懸命に取り組んでいきますので、よろしくお願いします。

(佐々木)

